

## 西 公民館

### 第13回 親子スポーツ 大会開催！

9月8日(日)、松前小学校のグラウンドと体育館で、青少年の育成を目的に、親子スポーツ大会が行われました。結果は次のとおりです。

#### ソフトボールの部

優勝 筒井 準優勝 新立

3位 宗意原

優勝 新立 準優勝 筒井

3位 宗意原

入賞をのがしたチームも、本来の目的である世代間での交流ができました。それでは参加した方々の声を聞いてみたいと思います。



▲楽しかったよー！

地域の方たちとふれあって  
松前中学校二年 松本幸子

私たちは、「絶対優勝」を合言葉に、大変盛り上がりつつバレーをやりました。その結果、盛り上がり具合が一番でしたが、試合は全敗でした。

地域の方々は、すごくおもしろくて楽しかったです。私たちが分からないことも親切に教えてくださったし、お茶やお弁当を出してくれたりとてもお世話になりました。私は地域の人たちとは、あまり関わりがないので相手にしてくれないと思っていましたが、こんなに楽しくできたので、すごく自分の中でもうれしかったし、また参加したいと思いました。

#### 部活以外のバレー

松前中学校二年 鶴井茉唯

私は、冗談半分でバレーをしに行きました。最初は、優勝する気はまったくありませんでした。しかし、試合が始まると、優勝したいと強く思うようになり、失敗してもみんなまでチーム内を盛り上げて、プレーをしました。優勝はできませんでしたが、優勝はできなかったけれど、人一倍がんばった私たちは、優勝した気分を味わえたと思います。ほかの人やチームにも、もっ



▲みんなでがんばった優勝だー！  
ハイ、ポーズ

とバレーの楽しみや、人との関わりを深めていってほしいと思います。

#### 地域の行事

松前中学校二年 作間里恵

私はこういう行事に参加するのは初めてで、どんな感じかわからなくて、正直楽しくないのではないかと思っていました。

しかし、地域の人たちと一緒に試合をしているうちに、他のチームにはないチームワークがほんの数分でできて、他のチームからうらやましがられるくらいでした。その勢いで優勝をめざしていたけれど、私たちの望むような結果ではありませんでした。でも、地域の人たちとの楽しい時間の方が優勝よりもうれしかったです。これからもこういう行事には参加したいです。

## 人権・同和教育シリーズ 第240回

### 身近な差別の解消をめざして

北伊予中学校人権・同和教育主任

山下尚彦

「人権教育のための国連10年」に関する行動計画が平成7年に決議され、本町においても「松前町おもいやりとぬくもりのある人権尊重の町づくり条例」が制定されました。

この第5条が、啓発の充実に指向したもので、学校が具体的に啓発活動をする一番のやり所となります。ここまでののは、諸先輩の大変な努力のおかげで、差別に対する意識が向上し、解消へと向かっています。

北伊予中学校では、「心豊かで、活力に満ちた生徒の育成」の目標を掲げ、同和教育を軸として人権教育を日々の教育活動(道徳をはじめ、総合的な学習、各教科、行事、教育相談、進路指導、部活動など)の中で実践しています。ささやかな一例に、日々の日記指導があります。そこでは、情報収集や価値観の共有化を通して生徒と教師の信頼関係を築いています。心のつまずきや悩みへの共感・助言、正し

い言動への賞賛など学級担任がコメントするのですが、時間の制約が多いにもかかわらず、丁寧に指導しています。

また、教職員の時事的な研修では、新聞などの記事を活用し、「身近な差別の事例」について日々研修を重ねています。最近の新聞記事の中に、住民基本台帳ネットワークに関して、4と9を避けて番号を登録した方がいたという記事がありました。何でも、4や9は縁起が悪いので嫌だということでした。このことから、迷信にとらわれず、幸せは自ら作り出すことが基本だということを確認しました。

また、青少年の投稿の記事は、職員室の話題となりつつあります。休憩のときなど、話し合う機会が増えました。

見逃しやすい差別の事象について、一層研修を重ね意識を高めたいと思います。

人が人として、楽しく幸せに人生が送れることを願って。